

# 広報

# いまり

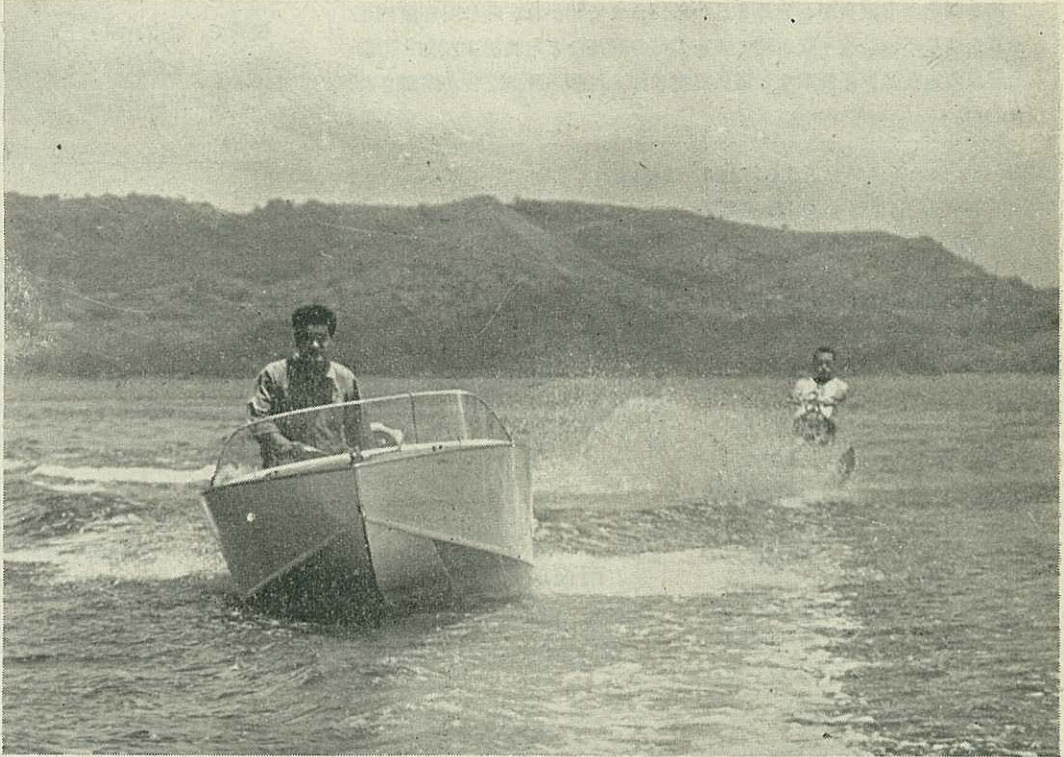
市の人口  
 6月1日現在  
 総人口 66,815人  
 男 31,544人  
 女 35,271人  
 世帯数 15,402世帯

昭和29年8月19日  
 第3種郵便物認可

○ 毎月1日発行 昭和41年7月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 147

(S41・6・18 伊万里湾ボートセンターで写す)



夏です 家族揃ってボートセンターへ  
 ことしは娯楽施設も充実

## 広報こよみ

13日まで 伊万里地区住民結核健康診断  
 4日～7日 波多津町住民結核健康診断

1日 交通安全の日  
 3日 家庭の日  
 10日 健康の日  
 15日～24日

海浜事故防止強調週間

20日 海の記念日  
 交通安全の日  
 21日～8月20日

自然に親しむ運動

28日 水路記念日

6日 山代町血液型検査  
 8日 伊万里工業大学建設記念福岡電波学園演奏会  
 9日～10日 九州地区大学体育大会  
 10日 波多津町農村後継者大会  
 11日～20日 大川住民結核健康診断  
 13日 南波多県指定青年学級研究会  
 15日 無料法律相談日  
 大川内山キャンプ開き  
 農業委員選挙投票日  
 17日 文部省委嘱二里青年教室  
 20日 文部省委嘱山代婦人学級  
 20日～8月10日 教育キャンプ  
 24日 全国中学校放送陸上大会  
 25日～29日 黒川住民結核健康診断  
 31日 第1回家政学院祭

☆つごうによって変更することがあります。  
 ☆あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

7月

# 第2回 市議定数減少条例案を可決

## 肉付予算案も通る 補正総額 4億4,600万円

第2回定例市議会が、6月8日から18日まで開かれ、昭和41年度補正予算をはじめ、助役・収入役・監査委員の選任など市長提案22件・市議会議員の定数減少条例案など議員提案3件・請願・陳情2件が審議されました。

◎国民健康保険条例が改正され、市内居住の外国人44世帯も国民健康保険に加入できるようになりました。

◎工場などの設置奨励に関する条例が改正され、市内に工場を新設・増設するときの奨励金交付の条件を大幅に緩和しました。

◎市内中小企業者に対する融資の円滑化と育成を図るため、振興資金貸付け条例が改正され、貸付利率2銭7厘以内を2銭6厘以内に引き下げました。

昨年度は、133件・4,308万円が貸し付けられましたが、ことしは、更に利用者がふえるみこみです。

◎教育委員・議会選任の監査委員・選挙管理委員・農業委員・公平委員の手当を月額200円～1,000円増額し



外にはみでた市議会傍聴人と伊中生

ました。

◎山口市長第2期の助役・収入役・監査委員に次の各氏が、議会の同意をうけ再任されました。

助役 竹内通教氏(47歳)=松島町  
収入役 田中藤太氏(59歳)=本町  
監査委員 小旗雄雄氏(58歳)=黒川町

### 市役所機構を改革

◎市役所の機構が変わりました。

市長2期目をむかえ、新しい感覚と抱負で市民にこたえられる組織にして、行政の能率と効果を高めようというものです。

職員不補充の原則にたかながら、開発・技能職能の充実にあてるところにし、次のように改革しました。

総務課から秘書・広報業務を分離して秘書企画課に、市民相談室業務は市民課に移します。しかし市民相談室の仕事の内容は変更せず、部屋も現在のところ。税務課と徴収課を統合して税務課に、土木港湾課は建設・労働の2課に分離しました。失業対策をはじめ労政一般を勞

働課で、都市計画・土地造成・道路港湾などを建設課でとりあつかいます。出納室は会計課に名称を改めました。

### 市議36人を30人に 次の一般選挙から

◎人口激減で、市議会議員の定数を現在の36人から30人にしようという減少条例制定の議案が、28人の議員から提案可決されました。この新しい定数は、次の一般選挙から行なわれます。

◎これに対して、民主主義の基本を守るためには、定数を減らすよりも報酬を月額15,000円減らして市民にこたえるべきだとしてその条例改正案が、5人の議員から提出されました。

しかし、地方自治法からみると、人口の減少は、定数減少にはつながっても、歳費引き下げにつながるものではない。また歳費引き下げは現状にそぐわないとして、議員報酬削減案は否決になりました。

◎また、市議会は、部落問題の重要性から、政府と国会は昨年8月同和对策審議会が政府に答申した「同和地区に関する社会的・経済的諸問題を解決するための基本的方策」を完全に実施するよう内閣総理大臣に要望することを決議しました。

じ立場でものを考える。

◆「おはなはん」は第二にどんな問題であろうと、そこから逃げずにやりとげるテレビの中でしばしば聞かれる「おはなはんにはかなわん」という言葉がそれを証明している。

◆だからといって意地っ張りではない。自分が悪い時には「ゴメン」と言っておにわびる。

◆人の良さが、また底抜けである。かといっていつも人の態度を見てはそれでいいのだからかと批判精神の上に立っている。

◆かくして、「おはなはん」に接する人がみんな「おはなはん」の味方になってしまふ。要するに憎めないのである。

◆大きくは国と国の間から小さくは夫婦の仲まで憎しみの多い今の世の人は少し「おはなはん」を見習うといい。

◆放送時間をもう三十分切り上げて、大統領から労働者まで朝の十五分の時間を「おはなはん」でも見えて出勤すれば、世の中の憎しみは少しは溶けることにならないだろうか。

### ◎ 補正予算 ◎

昭和41年度当初予算は、市長改選のため骨格的な予算編成でしたが、こんど建設の事業・補助事業など、一般会計3億6,718万円・特別会計2,087万円・企業会計5,789万円をそれぞれ追加計上しました。

財政規模は、一般会計15億3,988万円・特別会計2億4,559万円・企業会計1億8,729万円になりました。

### 一般会計

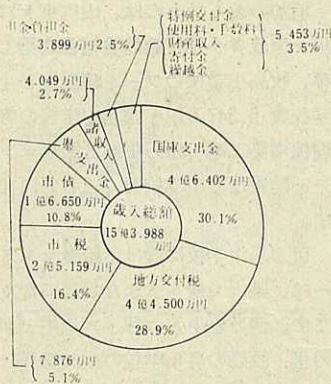
#### 歳入

こんど追加した財源のおもなものは、次のとおりです。

○昨年のたばこの売り上げ本数で計算される臨時地方特例交付金を760万円追加しました。

○人口減で心配された地方交付税はこんど4年間に少しずつ減額されると考え、7,400万円を追加しました。しかし、国のノビ以上見込まれてお

一般会計歳入費目別割合



り、一般財源のノビが期待されないので歳入欠かんを生じないように特別な配慮をするよう議会から要望されました。

○学校建築・街路整備事業などに国から支出される負担金・補助金5,224万円を追加しました。

○県支出金は、農業・林業構造改善事業補助金など6,163万円を追加しました。

○八谷掘埋め立て地3,300平方メートル・樹種を転換するため木須町市有林の立木売り払い収入など財産収入に742万円を追加しました。

○寄付金は、伊万里給食センター建設寄付金500万円など1,173万円を追加しました。

○繰越金は、昭和40年度の繰り越し見込み額1,000万円を追加計上しました。

### 市債は1億6,650万円に

○長期・低利の借金は、大幅にふえ1億2,359万円を追加し、今年度中に借り入れる市債総額は、1億6,650万円になります。

おもなものは都市計画(1,200万円)・辺地対策事業(1,000万円)・港湾建設事業(2,100万円)など土木債が5,300万円・工事中のし尿処理場建設事業(1,060万円)・新しく着工する統合火葬場建設(1,200万円)など衛生債2,260万円・教育債4,550万円です。

歳入総額は、15億3,988万円になり市民1人23,000円にあたります。

#### 歳出

追加された3億6,718万円が、どのように使われるか説明します。

○総経費 昭和40年度の繰り越し額1,000万円のなかから積み立てられる財政調整基金500万円・木須町市有林の造林費103万円・末端行政の役割を果たす区長・駐在員報酬や交通対策・暴力追放協議会への補助金など205万円その他、大学誘致・マスタープラン調査委託料など合計865万円を追加。前年よりも1,302万円7.9パーセントふえました。

○民生費 追加611万円で、4億1,537万円になりました。前年より3,433万円の増です。

部落問題の重要性から同和対策事業がとりあげられ、327万円で隣保館(木造平屋建て、132平方メートル)を大川町に建設します。

隣保館は、公民館の性格と職業指導的の性格をもつものです。

また、ことしから日常の生活に困っている老人世帯を世話することになり、老人家庭奉仕員制度を設けました。その委託料14万円や遺族会・更正保護観察協会など各種補助金

110万円・保育園改良工事・児童遊園地造成など児童福祉費137万円がおもな追加です。

### 統合火葬場に2,431万円

#### 衛生費

環境衛生整備のための松浦簡易水道繰り出し金298万円・大坪町白野に建設される統合火葬場建設費2,431万円・ことし完成するし尿処理場の継続工事費610万円など3,506万円

- ◆ テレビドラマ「おはなはん」の視聴率が異常に上昇しているそうである。
- なぜであろうか。
- ◆ 人々が見たいという心理の中には、現代に欠けていて、しかも人々がそうありたいと願っているものがあるところからにちがいない。
- まず、「おはなはん」は民主主義の典型である。
- ◆ いまならいざ知らず、明治の昔、男尊女卑の最も強かった鹿兒島の士族にとつぎながら、権威一徹の家長である祖父と堂々と渡り合っ
- て一本オメンをとってしまふ。ユーモアな言葉と行動の中にちゃんと女権を拡張しているといえる。
- ◆ また、階級制度の強い軍人の妻でありながら隊長であろうと、上官であろうと持ちまえる人間性でぶっつかっていったものおじしい。
- ◆ 上ばかりでなく下を向いてもことは同じである。馬丁であらうと子どもであらうと、いっしょになっ



完成ちかいし尿処理場

を追加計上し、衛生費総額は1億728万円になり前年度の約2倍にふえました。

○労働費 失業対策事業就労者手当1,023万円、事業効果をあげるための携帯用さく岩機50万円の購入や市道改良などの炭鉱離職者事業187万円など1,354万円を追加しました。

**林道5線  
3,300メートルを開設**

○農林水産業費 農業構造改善事業費4,801万円・林業構造改善事業費2,101万円など9,792万円を追加し1億3,709万円になりました。

市議会は、小規模土地改良・農道水路・溜池など十分な事業ができるよう次の補正予算で考えてほしいと要望しました。

農業構造改善事業費は、みかん樹園地造成34.4ヘクタール・樹園地内の農道2,014メートルの工事費2,913万円・共同防除施設6か所の補助1,574万円がおもなものです。

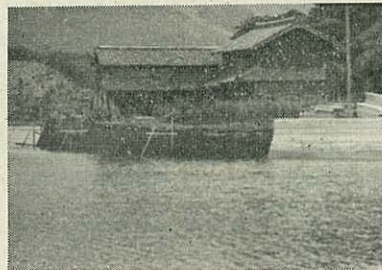
このほか、園芸振興に40万円・竹の古場放牧場改良事業補助210万円など畜産関係に261万円。

大坪町永山と大川町文珠老朽溜池波多津町池の本の海岸堤防・腰岳開拓事業・馬蛤潟干拓の県営工事負担金903万円・同じ県営工事の大川町東田代・黒川町大黒川・松浦町北野の地すべり防止事業負担金124万円東山代町大久保の水路復旧工事441万円など農業費に6,686万円を追加しました。

林業費は、波多津町高平線・大川町山口～米の山線・東田代線・黒川町人見山線・南波多町鷹ノ巣線3,300

メートルの林道開設に1,419万円を追加しました。このほか市森林組合に対してのチップ工場建設補助金404万円もあり、林業費は2,135万円になりました。

水産業費をみると、波多津漁港物揚場工事と鳴石漁港防波堤基礎工事費855万円がおもなものです。福島橋付近で観光漁業を振興させようとする釣センター適性試験費や真珠振興補助金・湾内漁業振興補助金など108万円も追加しました。



ことし工事する池の本海岸堤防

○商工費 操業をはじめた誘致企業伊港木材工業株式会社に給水する久原水道組合へ70トン配水池増設のための30万円の補助や商工会議所などへの補助金102万円・県信用保証協会出損金100万円など商工振興費に261万円を追加しました。

観光関係は、ポートセンター・大川内山キャンプ場の休けい所・便所工事費58万円・水上スキー用モーターポート購入費60万円・竹の古場公園用地9,900平方メートルの買収費など228万円を追加しました。

**土木費昨年より15%増**

○土木費 道路・橋りょう費4,164万円・港湾建設費2,833万円・都市計画2,592万円など1億4,422万円の追加で土木費総額は1億3,630万円になりました。前年より15.3パーセントの増です。

道路・橋りょう関係は、平尾築業団地取り付け道路工事をはじめ市道の新設改良工事に1,166万円・辺地対策事業に1,200万円・碎石購入200万円・橋りょう維持400万円などが

おもなものです。

港湾費は、県が主体になって行なっている伊万里港改修工事と危険ボタ山処理に2,833万円を追加しました。危険ボタは、久原地区の埋め立て用地に利用されます。

都市計画・住宅関係は、本町～上伊万里線1,400万円・八谷線660万円など街路事業に2,220万円・国見台公園野球場建設など公園事業に362万円を追加したほか市営住宅12戸を久原に762万円で建設します。

**水そうつき消防車を購入**

○消防費 初期消火に威力を発揮する水槽つき消防自動車を385万円で購入します。また防火水槽9基・簡易望楼4基・格納庫3か所の建設など1,048万円を追加しました。

○教育費 9,610万円を追加、総額2億21万円になり、前年より14.9パーセント・2,597万円ふえました。

**5校5,000人分の  
給食センターを建設**

追加のおもなものは、山代東・二里・南波多小学校の危険校舎改築工事、牧島小学校のプール建設など小学校費5,347万円・国見中学校の管理棟増築工事・伊万里地区給食センター建設など中学校費3,741万円です。

伊万里中学校に設ける給食センターは、県内で最も大きな規模になります。伊万里中・大坪・大川内・伊万里・牧島の各小学校の生徒職員5,000人を対象にし、11月から給食を開始する計画です。

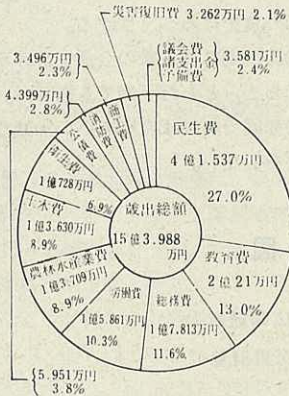
社会教育費では、婦人学級講師謝礼・文化財保護調査委託料・公民館費などに135万円を追加しました。また、ことしから定期的に図書を入れかえ、読者にサービスするため、へき地部落などを対象に移動図書館を設けます。

このほか、ことし伊万里市で開か

れる県民体育大会費に134万円・国見台グラウンド正面スタンド上屋建設費70万円・グラウンド整備40万円青少年教育キャンプに18万円などが追加のおもなものです。

○諸支出金 当初予算で上水道企業会計へ1,125万円貸し付けるよう計上してありましたが、国からの借金増額をみこみ911万円減額しました。

一般会計歳出費目別割合



特別会計

○楠久簡易水道

この水道は、楠久炭坑の坑内水を原水としています。

原水を確保するため75ミリ管を補助導水管として増設する工事費87万円を追加し、総額684万円になりました。

助役 竹内通教  
収入役 田中藤太

市長の職きびに從い、いつも初志を忘れずがんばりたいと思います。市民の皆さま、どうぞよろしくお願ひします。

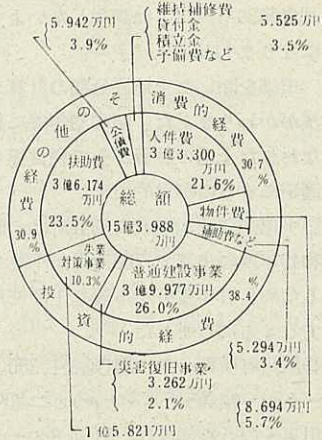
就任ごあいさつ

六月八日、市議会の同意をえて山口市長第二期目の助役・収入役に再び選任されました。

伊万里市はかつて「老大成」の姿ありと評せられていましたが、いまや新しい開発により、「青年伊万里市」に若返っています。わたくしたちも、その考え方でいっても若く、そのファイトで青年の意気をもって市政に当たらねばなりません。

企業会計

一般会計歳出性質別割合



上水道拡張工事 5,789万円を追加

○伊万里上水道

昭和39年度から4か年計画で実施している上水道拡張工事が、総工事費2億800万円から2億7,300万円以内に計画変更されました。増額6,500万円のうち昭和41年度分5,789万円を追加し、予算総額は1億4,140万円になりました。

この事業は、国からの長期借金1億1,200万円・一般会計からの借入れ金214万円でまかなわれます。

昭和42年度の工事費として5,033万円を予定しています。

工事費がふえるおもな理由は

○設計から工事までの期間的ズレがあり、工事資材と労務費が大幅に値上がりしたこと

○取水・配水池の土地購入について地元との話し合いがつかず工事変更をしなければならなかったこと

○薬品注入施設・浄水方法を強化したこと。

○人件費を節約するため電気計装の設備をしたことなどによるものです

市議会は、担当職員の工事費増額についての認識がたたらなかった・業者との連絡が十分でなかったことを指摘し、こんごじゅうぶん研究するよう要望しました。

無料法律相談所

▷こんどの相談日

7月15日(金) 10時~3時

▷場 所 市役所市民相談室

▷相談員 弁護士 浦田仙造氏

# 市民税 1,000万円を減税

5月31日に開かれた第1回臨時市議会で市税条例の改正など5件の議案が可決されました。

◎市税条例改正のおもなものは次のとおりです。

○市民税の基礎控除額・扶養控除額などを引き上げたため約1,000万円の市民税が減税になりました。

○身体障害者が使用する軽自動車税が減免されることになりました。減免を希望されるかたは、身体障害者手帳・運転免許証などを添え申請書を、納期7日前までに提出してください。

○固定資産税の免税点が引き上げられ、土地8万円・家屋5万円・償

却資産30万円以下は課税しないようになりました。

田畑を除いた土地評価額の計算方法がかわりました。昭和39年度に行なわれた土地の評価がえて税負担を適正にするのが目的です。

◎平尾築業団地造成特別会計は、昭和40年度の決算で760万円が不足するため、41年度分から繰り上げ充用することになりました。

◎黒川町横野～牟田線(延長1,380メートル・幅員5.5メートル)と二里町川東～西八谷掘線(延長157.6メートル・幅員5.5メートル)の2路線が、市道になりました。

## 赤痢にご注意

ことしは、6月20日までに赤痢50人を始めジフテリア・猩紅熱・流脳など58件発生しています。

### 赤痢の集団発生を防ぐには

- ①なま水なま物をできるだけさける
- ②ふきんやまな板は熱湯消毒を。
- ③冷蔵庫を過信しない。
- ④用便後の手洗いの励行。
- ⑤食前の手洗いの励行。
- ⑥蠅・ネズミ・ゴキブリを殺す。
- ⑦外食をなるべくさける。
- ⑧流行期に多人数の会食をさける。
- ⑨ちょっとした下痢でも医師へ。
- ⑩赤痢であれば自宅でいい加減な治療をしない。

## 有線テレビ施設

### 9月に着工

伊万里有線テレビ建設準備委員会は、6月11日、伊万里有線テレビ施設を建設することに決めました。

KBC(九州朝日放送)技術本部は、1,500世帯を基準に負担金1万5,000円以内でじゅうぶん建設できると発表しました。

同委員会は、アンケートの結果から、伊万里町の加入希望者の多い部落だけを対象にすることにしました。

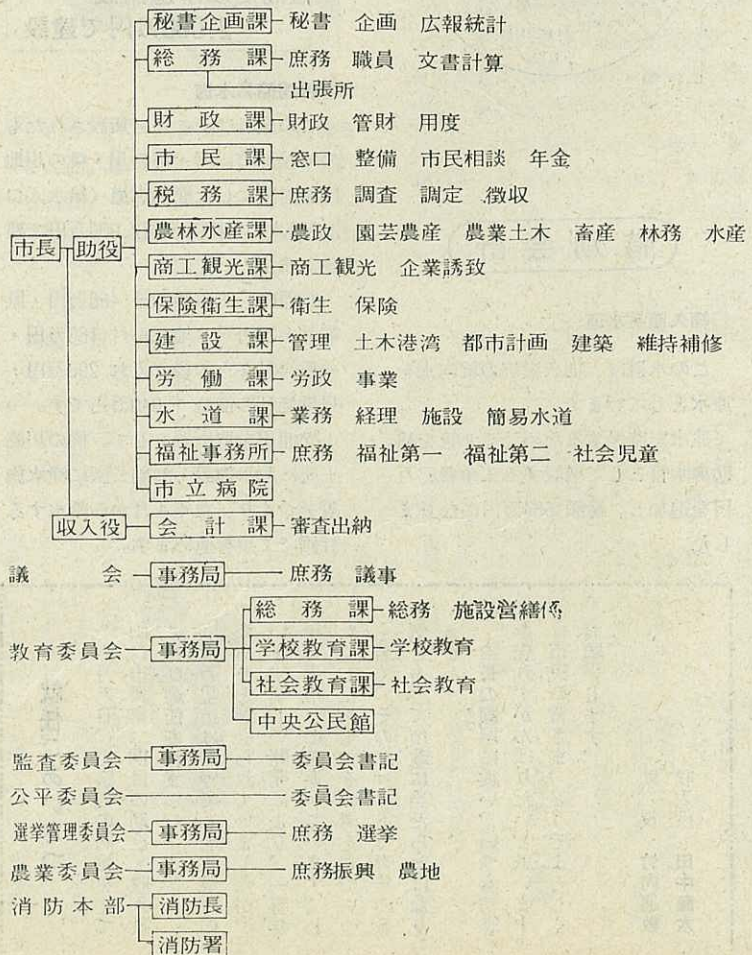
商工会議所・テレビ店は、7月中旬から8月末にかけて加入申し込みを受け付けます。

建設前の加入金1万5,000円(10回払い1万6,000円)、建設後の加入金2万円・月の維持費200円の予定です。

同委員会は、9月に着工し、12月中旬に完成させる計画です。

伊万里のテレビ映像の鮮明さは50度といわれています。有線テレビでは90度以上の鮮明さで、しかも6局を見ることが出来ます。家庭のアンテナも不要です。

## 市 機 構 図



# 伊万里工業大学 建設覚書 交換

## 8月から校舎建設・来春開学

伊万里工業大学の建設についての覚え書が、学校法人福岡電波学園理事長福岡工業大学学長と山口市長の間で取りかわされました。

覚え書きの内容をみると、

- ▷ 福岡電波学園は、伊万里工業大学を伊万里市に建設する。
- ▷ 市は、大学用地の取得をあっせんする。
- ▷ 大学用地の取得資金を大学にあっせんする。
- ▷ 大学建設資金3億円の調達をあっせんする。

伊万里工業大学の規模は、来春4月開校を目標に、まず工学部電気工学科・機械工学科400人を予定し、将来は窯業工学・経営工学・工業化学など8学科を年次計画で設け、学生も2,000人以上になります。

大学用地は、約62万8,000平方メートル(19万坪)・そのうち校舎3万3,000平方メートル(1万坪)が予定されています。

大学建設候補地は次の4地区です

- ◎二里町川東岳から立花町渚にいたる国見台南側一帯
  - ◎立花町金谷から長谷の大堤にいたる山林地帯
  - ◎大坪小学校北側一帯
  - ◎伊万里商業高校裏山一帯
- このほか、地元の積極的な要望が

なされている地区として、

- ◎国見中の西側丘陵地帯
- ◎黒川町黒塩地区

があげられています。

市は、地積・所有者調べをして7月上旬に1か所にしぼる予定です。大学側は、来春開校に間に合うように8月から整地と校舎建設にとりかかる計画です。

まず、本館(建物の長さ50メートル・3階建て・建坪1,805平方メートル)と1号館(建物の長さ100メートル・5階建て・建坪1万573平方メートル)を建設し、来年2号館(5階建て)・昭和43年に3号館を建てる計画です。

このほか、大講堂・体育館・柔剣道場・職員住宅・学生寮をはじめ、各種運動競技場など施設が年をおって充実されます。

大学誘致問題について、市は、3月上旬から福岡工業大学と熊本工業短期大学へ打診を続けていました。

また、市民総意で誘致しようと、6月1日には各団体代表で大学設置推進委員会(会長山口市長・委員27人)を設け検討していましたが、次

のような理由で、福岡電波学園福岡工業大学を誘致することに決まりました。

- ▷ 大学側が積極的態度をとったこと。
- ▷ 将来の伊万里市開発のビジョンにあった大学——理工科系統の大学——がよいこと。
- ▷ 教授の陣容・規模・福岡との距離などから有利であること。

市は、大学誘致の基本的態度として、▶伊万里市が近代文化都市としての要素をみとすために大学が必要である。▶県下の大学進学率が18パーセントであり、経済的にも心配せずに入学できる大学を建設し、人材を工業都市をめざす郷土発展に活用したい ▶学生の集中によって、市民の認識向上・商店街など経済的に有利である などから、大学誘致に本格的に取り組みました。6月には大学設置推進委員会事務局を設け、受け入れに忙殺されています。

大学側は、文部省の認可のための検査を11月に控えて、9月から教材用の機械器具を市内に搬入することになっています。

### 福岡電波学園の沿革

福岡電波学園は、電子工学専門の教育を目標に昭和29年福岡市和白ヶ丘に福岡高等無線通信学校(昭和35年福岡電子工業専門学校と改称)として創立された。

この学校のほか、33年開設の福岡電波高等学校・35年開学の福岡電子工業短期大学・38年開学の電子工業大学・40年開設の立花女子高等学校を総合して福岡電波学園と称している。なお、伊万里工業大学は、分校ではなく、独立した大学として開学される。

専門課程から大学までの一貫した電子工業一大総合学園である。

創立者・理事長 桑原玉市氏  
 校地 79万2,000平方メートル  
 校舎 5万6,100平方メートル  
 学生 8,000人  
 教職員 490人



## 電話エチケット

◎ダイヤルは正しく

▲ダイヤルは、指どめまでキチンと回わしてください。

指どめで離して自然に戻るのを待ちましょう。

▲戻るときに交換機が働いてかかる仕組みです。

指で無理に戻したり、ダイヤル途中で指を離すと、まちがってつな

ったり故障の原因になります。

◎電話のじょうずな使い方1

「お話し中」のときは

2~3分まってかけましょう

「お話し中」の電話を1分以内に続けて呼ぶかたが10人のうち7人もあります。1回の通話時間は、2~3分ですから、少なくとも2~3分は間を置いてかけ直しましょう。

お互いが早めに用件をすますとそれだけ「お話し中」の電話も少なくなります。

市政モニター随時通信

〇わたくしたちが選んだ市議会議員の昭和40年度先進地視察旅行の経費効果などについて知りたい。

おこたえ 年1回、常任委員会単位で行政視察をしています。経費は1人2万5,000円の打ち切り旅費を支給しています。

本省への交付税増額・開港指定・バイパス着工などの陳情や、先進市の市庁舎・火葬場・し尿処理場などを視察しました。各委員会は、視察にあたって伊万里市と比較検討し調査を行ない、参考になるものは執行部にも連絡しています。

〇農業構造改善事業の恩恵は、農家のごく一部に限られている。

零細農家は日雇による農外収入にたよっているため、生産は低下し、中堅人材の出かせぎで部落運営にも支障をきたしている。

自立農家育成策として各町にモデル農家を設定し、強力な指導を行なわれたい。

市は、新佐賀段階米作り運動に力を入れていない。当分は、市農業の死活は水稻の良否にあると思うので積極的に稲作運動に取り組みたい

おこたえ 自立農家は経営規模と立地条件を基調とした作目の選択と生産目標を設けるべきではないでし

ようか。モデル農家設定については農林省も検討しているようです。

米作り運動の目標は、収量の増加省力技術の開発普及・良質米の生産確保です。

農協の技術員は、運動の推進母体です。市係員も応援しています。

米作近代化集団と実践組合を40地区指定し指導しています。こんごは生産組合や同一条件の地域で米作近代化の意欲のあるところを指定し、品種・施肥量・植栽様式などの統一について協定し、最適の耕種体系をつくり、地域全体の生産増加と省力化を図るよう指導します。

重松さん 母子に優秀賞



6月10日、柳井町公民館で、母子のよい歯のコンクールが行なわれました。

◎優秀賞 田崎ツヤ子(25)・宜幸=大川町 重松恵子(29)・克哉=上仲町

◎優良賞 江口雅子(30)・恭子=搦町 中山睦規子(33)・由美子

県産経委員に 強硬陳情

6月21日、県議会産業経済委員と県当局の一行21人が来伊、山代地区を視察しました。

山口市長は、一行に対して、市内団体の代表とともに、次の事項を強硬に要望しました。

- ▶伊万里地域の新産業都市区域指定の推進
- ▶開港指定の促進
- ▶エネルギーセンター建設促進運動の展開
- ▶合板三次加工業の誘致
- ▶伊万里湾県立公園の国定公園昇格
- ▶伊万里~呼子線の整備
- ▶海岸保全整備事業の国庫負担率引き上げ
- ▶地すべり危険地域の家屋移転の国庫補助・融資の増額
- ▶鉱害復旧事業の国庫予算増額と早期完成
- ▶ボタ山の完全監督
- ▶漁港改修の県補助増額
- ▶伊万里湾水産試験場設置
- ▶真珠避寒漁場の造成
- ▶牧野改良推進
- ▶国道202号線の伊万里地区バイパス(車両専用道)の建設
- ▶伊万里~武雄線の早期舗装
- ▶工業大学誘致への県の協力
- ▶伊万里農林高校女子生徒定員の増

- =立花町 小林京子(27)・浩子=立花町 北野蓉子(31)・あけみ=祇園町

【とく】 有線テレビに 加入したい

新聞によると、大坪町古賀は、有線テレビ施設の範圍に含まれていないようだ。古賀は希望者も多いのでぜひ有線テレビが見られるように計画されたい。

大坪町古賀 一住民

【おこたえ】 上・下古賀あ

わせて一七〇世帯のうち、どのくらいの家庭が有線テレビを希望されるかによって決まります。



トでも「声のひろば」を拡げてほしいという

希望が多数ありました。係りでは、投稿された内容をみて、「声のひろば」などにそれぞれ掲載し、親しまれる広報紙にしたいと思えます。

伊万里商工会議所 福田事務局長

【意見】

読者の夢を広報に 居ながら、伊万里市のことが良くわかる広報を毎月楽しみにしている。しかし一つだけさびしく思うことがある。それは、意見が広

報関係のみに限られていることだ。

読者の「町に対する夢」「希望」「随想」「意見」などを掲載されたら、もっと楽しくなると思う。

大坪町 一読者

【保りから】 広報についての意見だけでなく、市政に対する希望・市民の夢などもけっこうです。

このごろ、広報についての意見が多く、ご指摘のようになりなりました。さきに実施した広報アンケートでも「声のひろば」を拡げてほしいという

希望が多数ありました。係りでは、投稿された内容をみて、「声のひろば」などにそれぞれ掲載し、親しまれる広報紙にしたいと思えます。

水上スキー教室開設

毎週土曜日の午後 ポートセンターで 入会金五〇〇円と 練習実費



# 農業構造改善事業 **すでに130ヘクタール完成**

## 3年間に1億8,114万円を投入

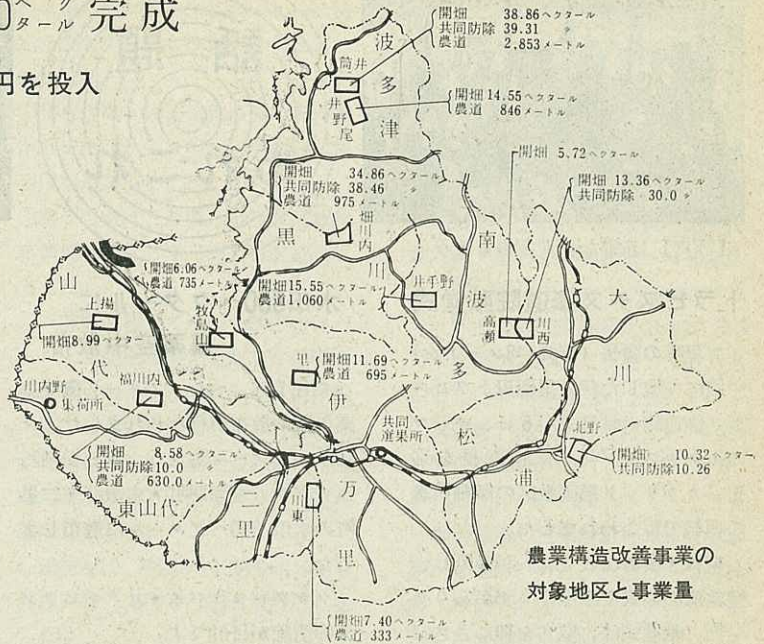
みかんの主産地にしようとして、昭和39年度から3か年計画で始まった農業構造改善事業は、ことしで一応完了しますが、昭和40年度の事業結果がまとまりました。

昨年は、市内9地区で樹園地開墾120ヘクタールと農道5,174メートルが完成しました。

最も大きな団地は、黒川町畑川内地区で、34.86ヘクタール・農道975メートル・関係戸数53戸です。

昨年の総事業費は、5,343万円です。そのうち69パーセント3,688万円は国県補助金・31パーセントは地元負担になっています。地元は、この金の80パーセントを5年据え置き・20年払いで農林漁業金融公庫から融資をうけ、20パーセントを受益者で負担しています。ことしは、大川町川西など4か所で新規事業が、南波多町井手野など6か所で継続事業が6,762万円を投入して行なわれます。

ことしの事業量は、樹園地造成46ヘクタール・農道2,014メートル・



共同防除施設 128ヘクタール・集荷所1棟で、関係戸数は344戸です。

ことしの事業費を含めると、この3か年に1億8,114万円が投入されることになり、その成果も、樹園地176ヘクタール・農道8,128メートル・共同防除施設128ヘクタール・共同採果所1・集荷所1の建設となってあらわれます。

いま市内のみかん樹園地820ヘクタールのうち400ヘクタールの成木園から3,900トン生産されています。

個人でのみかん園づくりも年間80ヘクタールずつふえており、10年後には1,700~1,800ヘクタールのみかん園から2万トンの生産が期待されます。

### 山林伐採は事前連絡を

季節的に、山林伐採が多くなります。配電線の近くにある樹木の伐採には十分注意してください。

次のようなときは、前もってご連絡ください。

- 伐採する木や竹の近くに電線がある。
- 倒れる距離以内に電線がある
- 勾配地で電線にあたる恐れがある。など

### 九州電力

こめば業者が4~7日ごとに収集することになっています。

伊万里町の皆さん、町内は皆さんの庭です。

近所同士・町民1人1人が伊万里町民のめんつにかけて、街をきれいにする気持になってください。



## こんなことでよいでしょうか 伊万里町の皆さんに訴える

### ごみで水面が見えない八谷瀬の用水路

他市から伊万里町に来たかたが、最初に目につくのは何かご存知でしょうか。

それは、街がきたない、特に溝がきたないことだそうです。小学生さえそう言っています。

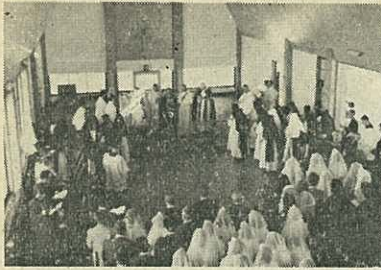
事実、伊万里町内を流れる川や溝は汚物がたまり悪臭を放っています

いったん雨が降れば、かびんやビニール袋は二里町八谷瀬へ流れ、用水路の水面が歩けるように堆積します。

そのため、八谷瀬の農家のかたは用水路から水田に水を引くことができず非常に困っています。

用水路をいくら清掃しても、上流の伊万里町の皆さんが、他人への迷惑を考え、認識して下さらねば無意味です。

ごみは、市役所保険衛生課へ申し



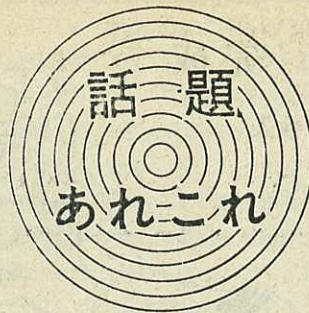
【写真】 荘厳な献堂式のもよう

### トラピスチヌ修道院献堂式

二里町の腰岳（標高448メートル）中腹に完成した伊万里聖母トラピスチヌ修道院の献堂式が6日、ローマのイグナス・ジレー修道総長を迎え、カトリック福岡教区の深堀司教の司祭で行なわれました。

来賓・信者など200人が参列し、聖堂清めの式や献堂のミサがありました。献堂式は、聖堂を神にささげる式です。同院は一部2階建て鉄筋2,700平方メートル・工費1億5,000万円で完成しました。

いま、マリア・ゼルマナ小林院長はカ神父2人・修道尼26人が農耕のかたわら静かな祈りの生活をつづけています。



### 水田380ヘクタールに 農薬空中散布

6月7日、ヘリコプター2機で農薬の空中散布が行なわれました。

1ヘクタールあたり、DS粉剤25キログラムを瀬戸町・木須町・二里町の水田380ヘクタールに散布しました。

ツマグロヨコバイ・ヒメトビウナカの防除が目的です。



【写真】伊万里駅前に表示された写真

### 人目をひいた街頭写真展

全日本写真連盟伊万里支部の七洋会（泉清会長・会員50人）は、6月1日から3日まで伊万里駅前街頭写真展を開きました。

市内カメラ愛好者の楽しみ・趣味のなかから生まれた作品を発表し親ばくを図るのが目的です。

来年は、観光伊万里をテーマにして、積極的にとりくみます。七洋会では、一般カメラ愛好者の参加を待っています。

おとなは、交通道徳を守らない。横断歩道も利用しない。市民1人1人が交通道徳を身につけ、それを実際の行動で示せ。

○交通指導奉仕者代表（松尾満次さん） 横断歩道での追い越しはやめよ 市内全域のこどもクラブに黄色い旗をもたせ、登下校の際利用するようにしたらどうか。

#### 各委員の意見

○朝日町・中央通り駐車を禁止せよ  
○夕方、雨が降っている時は、黒の雨がさは運転者には見分けがつかないので、高校生など色ものを使ってもらいたい。

○有料駐車場を何か所か作れ。  
○市街地のバス停留所付近は、道路を拡張せよ。

○各種会合での交通五分間話し合い巡回映画・有線放送などを利用し徹底した啓蒙運動を図れ。

○伊万里市民は自分のこどもがかわいくないのか。幼児の路上遊びや飛びだしが多い。

○一団体一実行目標をたて実行せよ

## 横断歩道を渡らないおとなたち

市交通対策協発足 意見活発にでる

伊万里市交通対策協議会（会長山口市長）が、5月25日発足しました。

これは、交通事故など交通事情が社会問題化している現状に対処するため、昭和37年に設けられた「伊万里市交通安全都市推進協議会」を発展的に解消し発足したものです。



横断歩道を渡らない主婦

（駅前4つ角で6月27日15時に写す）

協議会は、市・警察・商店街・学校・保育園・建設業・飲食店・酒販業など26団体で構成されています。

各町には支部会議を設け、末端まで浸透させ組織をつくります。

発会の当日は、被害者や各委員の意見発表が行なわれました。

#### ○被害者代表（本田次義さん）

わき見運転は、規則を守っている歩行者に危険である。

#### ○運転者代表（梶原敬晴さん）

運転者は、無理せず、あせらず運転するもので、歩行者も車両はどんなときでもとまるものと考えず、お互いがゆるずる精神をもってくれ。

#### ○学校教諭代表（西山経喜さん）

# 災害に備え警備訓練

救命素投射や人工呼吸などの訓練を行ないました。

6月10日、松浦町上原ため池の堤防に大穴があき、関係者200人が出動して応急処置をしましたが、災害は忘れたころにやってきます。



上原ため池の応急作業

人命や財産を守るために、家庭や地域でじゅうぶんな対策をたてておきましょう。

### ◎気象情報に注意しよう。

大雨・台風の災害にそなえて、テレビ、ラジオの気象情報をつかんでおこう。

### ◎災害が発生すれば、ハヤク・確実に連絡しよう。

近くの市役所出張所・消防団・警察駐在所などに連絡すると対策本部(市役所)でスグ応急対策をとります。

### ◎災害が予想されるときは

家屋の補強と家財道具の移動・油類・ガスなど危険物の措置・木材の

流出防止などをしておく。

### ◎避難するときは

食糧・水筒・手ぬぐい・チリ紙・最少限の着がえ・懐中電灯・救急薬品・小型ラジオ・雨具などを携行する。貴重品以外の大量の荷物はもちたさない。服装は軽装で、素足をさげ、帽子をつける。

災害防止対策の関係機関は、万一にそなえて危険箇所の視察・訓練などを行なっています。

その1 アマチュア無線伊万里クラブ(池田義孝会長・会員26人)は5月29日非常通信訓練を公開実験しました。地すべりと河川はんらんを予想し、基地局を玉屋屋上に、移動局を松浦町桃川に設け、移動車5台で通信訓練をしました。



アマチュア無線クの通信訓練

その2 伊万里警察署は、6月17日、署員80人が参加して、有田川で



伊万里署の災害警備訓練

その3 6月27・28日は、県災害対策本部一行30人と地元関係機関36人が、市内の地すべり地区・危険ボタ山・河川を防災パトロールし、災害に備えて対策を話しあいました。



西分地区をみる防災パトロール班

## 夏の別天地

大川内山キャンプ村 7月15日から

◎山小屋 19棟

◎収容人員 300人(宿泊200人)

◎開山期間 7月15日～8月31日

◎冷たい子  
◆冷たい子は、思いやりのない子・仲間になれない子・無表情な子・利己主義な子・批判的な子・おとなっぽい子などに多いものです。

◆表面は、そしらぬ顔をしていても、心の中では後悔しています。感謝や喜びを言葉で表現できない性格です。この子どもたちにも長所があるはずですから、あたたかい態度で接しましょう。

◎罪悪感の強い子  
◆A女は八歳ですが約四年間の自慰行為があります。そのために夢中遊行・頭痛・非社交性などの症状がみられました。自慰行為は、孤独をなくさめるためです。

◆孤独感をなくすことを考えなければなりません。性の問題は、禁止するよりも気分転換をはかることです。白責・後悔などの罪悪感に対しては、恐怖心をとるべきです。

◆B男九歳は、母のこづかい銭を失敬します。外で買いくいをして知らぬ顔で帰ってきます。

## 育児教室

### うちの子・人の子・困りっ子 (16)

◆小さい時からやさしく育てられた子は、虫を殺すことにつよい罪悪感をもちます。感傷的な愛情が、世のなかで適応しないという経験がたらないからです。

◆自分自身を攻撃する傾向のつよい人は、他人に迷惑をかけるために、良心的誠実な人としてほめられることがあります。しかし自分を苦しめるだけでは意味がありません。

◆このような人には、攻撃を外に向けることを教えるべきでしょう。

伊万里市家庭児童相談室

### バイクなどの

## 届け出は30日以内に

125CC以下の自動二輪車や農耕用耕うん機をお持ちのかたは、名義変更・廃車・住所の異動などがあれば30日以内に市役所市民課に届け出をしてください。軽自動車や126cc以上の自動二輪車は、佐賀陸運事務所に届けることになっています。

廃車のときは、標識を必ず返納してください。廃車届をしないと、いつまでも課税されます。

こんご、自動二輪車・耕うん機の新規届のときは、できるだけ納税もお願いします。

## 農業委員会 委員選挙 7月15日

農業委員会委員選挙が行なわれます。他人まかせてなく、農民の代表にふさわしい委員を選びましょう。

▶投票日 7月15日

▶場所

### ○東部地区

- 第1投票所 南波多公民館
- 第2投票所 波多川小講堂
- 第3投票所 大川中講堂
- 第4投票所 松浦小講堂

### ○中部地区

- 第1投票所 市農協伊万里支所

### 茶市での

## 売り上げの一部を寄付

このほど、伊万里青年会議所（吉原羊一郎理事長・会員62人）は、市民会館建設基金にと1万6,423円を寄付しました。

この金は、5月21日から開かれた茶市で、会員が一般通行者に原価販売した売り上げ高の1割を寄付したものです。商品は、陶器・はきもの電気製品・洋がさなどで、会員の店から原価でわけてもらいました。

青年会議所は、郷土の美化・市民会館建設などの事業方針にそって、伊万里川の清掃などに活発な働きをしています。

- 第2投票所 大坪小講堂
- 第3投票所 大川内小講堂
- 第4投票所 二里小講堂

### ○北部地区

- 第1投票所 大黒川公民館
- 第2投票所 東黒川小講堂
- 第3投票所 浦公民館
- 第4投票所 波多津東小講堂

### ○西部地区

- 第1投票所 東山代小講堂
- 第2投票所 滝野中講堂
- 第3投票所 山代東小講堂
- 第4投票所 山代西小講堂

▶不在者投票 投票日に出かせぎなどのため投票できないかたは7月5日から14日までに選挙管理委員会か市役所出張所で不在者投票をしてください。

## 生活苦の家庭は

### 国民年金の免除申請を

国民年金の被保険者で、生活が苦しく保険料を納めることができないかたは免除されます。

免除申請は、7月中にすませてください。この免除は1年限りです。

昨年免除をうけ、ことしも免除をうけたいかたも申請してください。

申請は、市役所市民課へ。

生活扶助・母子福祉年金・障害年金をうけすでに免除されているかたは申請する必要はありません。

## かあさん つれていってね

乳児検診と乳児相談が行なわれます。

▲該当者 昭和40年7月1日から昭和41年6月30日までに生まれた乳児

▲日取りと場所

7月	実施町名	場所
11日	波多津町	波多津出
13日	黒川町	黒川出
14日	東山代町	東山代出
18日	松浦町	松浦出
19日	二里町	二里出
20日	伊万里・牧島	柳井町公
21日	大坪・大川内	〃
22日	大川町	大川出
25日	南波多町	南波多出
26日	東山代川内野	川内野公
27日	山代町	山代出

※ 時間は各会場ともひる1時から3時まで



伊万里図書館に次の図書が寄贈されました。厚くお礼申しあげます。

- 日本考古学ほか119冊 大阪市 松尾健一さん
- 問屋の子らと40年ほか3冊 花町 伊万里良照さん

○真山青果全集ほか3冊 相生町 城島春吉さん

○句集俳三味ほか97冊 祇園町 山口正次さん

次のかたからご寄付をい  
ただきました。厚くお礼申  
しあげます。(敬称略)

○五百円 匿名(伊万里局 (昭41・6・20現在)

▼篤志寄付

町西円 亡二男雅美)

町四円 村田昭義(立花)

町八谷堀 亡姉池田サダ)

町十千円 大庭トヨ(二里)

町上古賀 亡父源助)

町八千円 池田源次(大坪)

立川鋳業所 亡父峯太郎)

○五千元 竹田力(大川町 原羊一郎)

八谷堀 亡母

文駿(二里町

○参千円 森

町築港 亡義母水尾マツ)

○五千元 松本愛二(瀬戸)

町 亡父三治)

○貳万円 中島敏一(新天)

町 亡父三治)

○五千元 松本愛二(瀬戸)

町 亡父三治)

○五千元 田中藤太(本町)

市民会館建設基金へ

消印)

○参百円 匿名(牛込局消印)

○参百円 匿名

庁舎建設基金へ

▼篤志寄付

○壹万円 山口正次(祇園町)

○五千元 竹内通教(松島町)

○五千元 田中藤太(本町)

市民会館建設基金へ

▼篤志寄付

○壹万六千四百貳拾参円 伊万里青年会議所(代表吉)